

資 料

辻邦生著作文献目録 (4)

Le répertoire des oeuvres de Kunio Tsuji

佐々木 涇*

SASAKI Thoru

長野大学紀要第19巻第1号(通巻第71号、1997年6月発行)に引続き、その後判明した辻邦生の著作品について以下に記す。発表順に番号をつけて整理してあるが、年月日の同じものは、著作品の表題が五十音順となっている。表題には『』をつけてゴシック体にし、初出誌とその著者、編者あるいは初出雑誌と出版社はアンダーラインを入れた。その作品が新たに収録されている場合には【収録誌】以降に記し、複数の書物に収録されている場合には、発行日順に列記した。単行本として刊行された作品は初出時の番号がつけてあり、「刊行：」の次にゴシック体にしてある。1997年4月以後の作品については、前回以降の通し番号をつけ、それ以前の作品については「追一」の後に番号をつけてある。補正の項では、新たに収録誌が発刊、もしくは判明したものについて前回までに付けられた番号にしたがって記した。訂正の項では、筆者のミス、誤植など訂正すべき箇所を、前回までに付けられた番号にしたがって記してある。

この追加リストの作成にあたって、辻邦生先生および学習院大学史料館の川田氏の協力、援助があったことを報告し、感謝の念を申し上げたい。

【追加】

1997年4月(平成9)

2232. 『《十八世紀叢書》の“悦ばしき知策”』『十八世紀叢書 全10巻』宣伝パンフレット, 国書刊行会
4月1日

2233. 『想像力のレアリティー 埴谷さんと初めて会った頃一』群像〈追悼 埴谷雄高〉, 講談社

2234. 『憂愁の中に佇む影—埴谷雄高の闇の意味を求めて—』中央公論〈追悼 埴谷雄高〉, 中央公論社
4月3日

2235. 『長続きする企画を希望』読売新聞 夕刊
4月4日

2236. 『大リーガーへの夢』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
4月11日

2237. 『スペインの大地と自由』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

2238. 『神の不在と軌跡の意味』CINEMA RISE No. 68 (映画「奇跡の海」パンフレット), ユーロス
ベース【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)

4月13日

2239. 『幸福と苦悩もたらす恋—拝啓 水村美苗様—』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉【収録誌】辻邦生
／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)

*教授

4月18日

2240.『ジャパネスクのウソ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

4月25日

2241.『何が時代の現実か?』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

4月27日

2242.『作家呑み込むその想像力―拝啓 水村美苗様―』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)

5月2日

2243.『期待されるEUの理念』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

5月9日

2244.『美しい心中は是か非か』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

5月11日

2245.『陶酔と恍惚もたらす孤独―拝啓 水村美苗様―』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)

5月16日

2246.『砂漠をひっくり返す発想』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

2247.『無題: 映画「心の指紋」 推薦文』「心の指紋」完成披露試写会の案内状, 日本ヘラルド映画宣伝部

5月17日

2248.『生のいとおしさ』(原題:「ヴィルコの娘たち」の生と死の映像) EQUIPE DE CINEMA No. 122, 岩波ホール【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)

5月23日

2249.『西欧の倫理的バックボーン』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

5月25日

2250.『重い石のように字を積み―拝啓 水村美苗様―』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)

5月30日

2251.『時代の二つの顔』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月

2252.『名と物が切り裂かれるとき―ピーター・グリナウェイの枕草子―』広告批評【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)

6月6日

2253.『現代建築の方向』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月8日

2254.『人間の運命描き出す歴史―拝啓 水村美苗様―』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)

6月10日

2255.『古代, 地中海, そして都市』『世界美術大全集 第5巻 古代地中海とローマ』月報, 小学館

6月13日

2256.『ある経済学者の静かな死』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月20日

2257.『アーヘンの宮廷礼拝堂』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

6月22日

2258. 『歴史の中に詩の炎感じて一拝啓 水村美苗様一』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』（改題「歴史に詩の炎を感じて」）朝日新聞社, 1998年3月1日（平成10）
6月27日
2259. 『歴史の現場にたつ意味』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月
2260. 『英知の映画』映画パンフレット「心の指紋」, 日本ヘラルド【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日（平成9）
7月1日
2261. 『いかに日本古典が蘇ったか』群像, 講談社
2262. 『本を焼いたあの日一父の本棚一』文學界, 文藝春秋
7月4日
2263. 『少年たちのうめき声』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月6日
2264. 『現実を見るボルヘスの眼一拝啓 水村美苗様一』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日（平成10）
7月8日
2265. 『青春の幸福一TBS木曜ドラマ「友達の人」一』毎日新聞【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日（平成9）
7月11日
2266. 『欧州の学生気質の昨今』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月18日
2267. 『現代人はいやされるか』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
7月20日
2268. 『想像力による生きる喜び一拝啓 水村美苗様一』朝日新聞〈手紙, 葉を添えて〉【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日（平成10）
7月25日
2269. 『夏の軽井沢だより』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月1日
2270. 『「聖なるもの」の死』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月8日
2271. 『遠い花火の思い出』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月10日
2272. 『ラヴェンナの奇蹟』『世界美術大全集 第6巻 ビザンティン美術』月報, 小学館
8月15日
2273. 『伝記のすすめ』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月22日
2274. 『カルタゴを訪ねた頃』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
8月29日
2275. 『夏を送る言葉』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月
2276. 『山脈が語り出すとき』推薦文, 『埴谷雄高全集全19巻』宣伝パンフレット, 講談社
9月5日

2277. 『ダイアナ元妃』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月10日
2278. 『幸福までの長い距離—あとがきにかえて—』 『幸福までの長い距離』, 文藝春秋
2279. 刊行: 『幸福までの長い距離』 文藝春秋
9月12日
2280. 『碓氷峠の写真家たち』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月19日
2281. 『10月がもってくるもの』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
9月26日
2282. 『眼は変化する』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月
2283. 『思索はつねに生のための思索でなければならない』 『アラン著作集全10巻』 宣伝パンフレット,
白水社
10月3日
2284. 『信州への新しい門』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月16日
2285. 『ファブリスの恋 クレリアの恋』 大岡信 他編 『世界文学のすすめ』 岩波文庫
10月17日
2286. 『読書の秋の動き』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月18日
2287. 『解説 〈ロマネコンティの里から—ぶどう酒の悦しみを求めて〉』 中公文庫『ロマネ・コンティの
里から』, 中央公論社
10月24日
2288. 『政と官の変わらぬ構造』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
10月31日
2289. 『世界市場が渦巻くとき』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月7日
2290. 『京都国立博物館』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月10日
2291. 刊行: 『時の主人』 (共訳 堀内ゆかり), 集英社
2292. 『〈時の主人〉の悲しみ』 『時の主人』 まえがき, 集英社
11月14日
2293. 『フランスの新しい作家』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月21日
2294. 『血にぬれた古代遺跡』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
11月28日
2295. 『「三四郎」のなつかしさ』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
12月12日
2296. 『オペラ劇場の嬉しさ』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
12月19日
2297. 『大型減税の行方は』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉
12月26日
2298. 『三船敏郎の死を悼む』 信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1998年1月9日(平成10)

2299.『文化の土台に徹した人』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月16日

2300.『ドイツも地方都市は変わる』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月23日

2301.『〈死霊〉全集版の意味』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月30日

2302.『社会が崩壊するとき』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1月31日

2303.『前作なぞった定型化が残念一現実逆手に撮る“詐術師”キアロスタミ監督「桜桃の味」一カンヌ映画祭パルムドール』、朝日新聞

2月1日

2304.『小説の場と視角』(フランスの小説家、クリストフ・バタイユとの対談) すばる, 集英社

2月6日

2305.『雪の五輪と現代美術』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

2月13日

2306.『勝利を喜ぶ心』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

2月20日

2307.『埴谷雄高一年祭』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

2月27日

2308.『すばらしい冬季五輪』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

3月1日

2309.『風のトンネル』『手紙、葉を添えて』のエピローグ, 朝日新聞社

2310.『祖父辻直記の手紙』一冊の本, 朝日新聞社

2311. 刊行:『手紙、葉を添えて』(共著 水村美苗), 朝日新聞

2312.『中村真一郎のサロン』新潮〈追悼特集・中村真一郎の遺産〉, 新潮社

3月6日

2313.『秩序を失った心』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

3月10日

2314.『自作朗読もまた楽し笑いの偉大さ再確認』朝日新聞 夕刊

3月13日

2315.『パラリンピックの感動』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

3月27日

2316.『映画「タイタニック」』信濃毎日新聞 夕刊〈今日の視角〉

1997年3月31日以前の著作文献

1963年(昭和38)

11月30日

追一2.『訳者あとがき一〈死せる都市の復活I〉』マルセル・ブリヨン『死せる都市の復活I』, みすず書房

1971年(昭和46)

9月15日

追一3.『著者のことば一〈嵯峨野明月記〉』『嵯峨野明月記』帯, 新潮社

1972年（昭和47）

10月30日

追一4.『近似した情緒』『日本の古典第11巻』月報18, 河出書房新社

1973年（昭和48）

4月19日

追一5.『あとがき—ある告別』『ある告別』限定版, 吾八ぶれす

10月12日

追一6.『芝居にしたい歴史上の人物』（アンケート）劇 現代演劇協会機関誌 第44号, 現代演劇協会

追一7.『廃墟・人間・ドラマ』対談（遠藤周作）, 劇 現代演劇協会機関誌 第44号, 現代演劇協会

1975年（昭和50）

8月1日

追一8.『あとがき—高瀬川』『高瀬川』限定版, 鶴声居

1978年（昭和53）

6月1日

追一9.『俳諧の意味』対談（尾形仿）, 尾形仿『芭蕉の世界・下』放送ライブラリー 20, 日本放送出版協会

10月5日

追一10.『作品制作に関する「日記」抜粋』『辻邦生全短篇』中央公論社【収録誌】『辻邦生全短編』中公文庫, 1986年6月10日（昭和61）

1982年（昭和57）

3月1日

追一11.『作家訪問』談話, 新刊ニュース〈作家訪問 51 インタビュー構成 安原顕〉, 東京出版販売

8月13日

追一12.『無題：鈴木一史著〈異人たちの物語〉推薦文』, 『異人たちの物語』帯, 文治堂書店

1988年（昭和63）

10月1日

追一13.『あとがき—私の映画手帖』『私の映画手帖』, 文藝春秋

1989年（平成1）

7月7日

追一14.『あとがき—美しい夏の行方』『美しい夏の行方』, 中央公論社

1993年（平成2）

追一15.『世界の乱反射の中で—和田亜紀個展によせて—』『和田亜紀展』の案内カード

1月25日

追一16. 刊行：『辻邦生歴史小説集成第六巻〈背教者ユリアヌスⅢ〉』岩波書店

追一17.『〈背教者ユリアヌス〉歴史紀行—自作解題風に（Ⅲ）』『辻邦生歴史小説集成第五巻 背教者ユリアヌスⅢ』, 岩波書店

3月10日（平成5）

追一18.『モネの眼からセザンヌの眼へ』『世界美術大全集 第23巻 後期印象派時代』月報, 小学館

4月

追一19.『思想の地平を鳥瞰する試み』『岩波講座現代思想 全16巻』内容見本, 岩波書店

4月5日

追一20.『華やかな時代の美—「珠玉の英国絵画展」に出品された〈羊飼いと羊のいる風景〉への寄稿』
東京新聞

5月

追一21.『小説に地殻変動が起っている』『シリーズ新世代のイタリア文学』内容見本, 東京書籍

6月2日

追一22.『生きる喜びと秩序』講演(於 お茶の水スクウェアルーム 6) 芸術文化交流の会主催「第5回芸術サロン」【収録誌】『芸術文化交流会員通信』No. 10, 芸術文化交流の会, 1993年8月1日(平成5)

6月10日(平成5)

追一23.『実のなかの虚、虚のなかの実』『日本名建築写真選集 全十二巻 第十八巻 京都御所・仙洞御所』新潮社

6月28日

追一24.『生きる喜び(ジョワ・ド・ヴィーヴル)を見出す時』創一21世紀を語る一, 前田屋外美術株式会社

7月

追一25.『美の嵐のなかの羅針盤』『高階秀爾コレクション』内容見本

追一26.『冷やかな映像の孤独—フランス映画とアメリカ映画を比較して』FLIX DELUXE【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)

7月20日

追一27.『ステージに爆発する〈愛〉—辻沙織写真集に寄せて—』『FAVORITES 辻沙織写真集』, フォルズメイト発行

7月26日

追一28.『〈銀杏散りやまず〉 歴史紀行—自作解題風に』『辻邦生歴史小説集成 第十一巻 銀杏散りやまず』岩波書店

追一29. 刊行:『辻邦生歴史小説集成 第十一巻 〈銀杏散りやまず〉』岩波書店

8月

追一30.『歴史の光 人生の光』映画パンフレット「戦争と平和」, シネセゾン【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)

8月10日

追一31.『マネとモネとの間』『世界美術大全集 第22巻 印象派時代』月報, 小学館

10月1日

追一32.『大仏次郎賞選評』朝日新聞

10月10日

追一33.『新古典主義のディナミズム』『世界美術大全集 第19巻 新古典主義と革命期美術』月報, 小学館

12月

追一34.『〈ミシェル館の人〉 完結に寄せて』『ミシェル館の人』内容見本

12月10日

追一35.『オルセーの“クールベ”たち』『世界美術大全集 第21巻 レアリズム』月報, 小学館
1994年(平成6)

1月8日

追一36.『異物感と憧れの間で……』読売新聞【収録誌】熊平雅人編『抜粋のつづり その五十四』, 熊平製作所, 1995年1月20日(平成7)

1月17日

追一37.『新版へのあとがき—〈トーマス・マン〉』同時代ライブラリー『トーマス・マン』岩波書店

3月25日

追—38.『無題：映画「フィオーリーレ花月の伝説」』「フィオーリーレ花月の伝説」の広告

4月25日

追—39.『ものぐさ太郎とものぐさ花子の物語』リテレール・ボックス①『私の貧乏時代』，メタログ

5月12日

追—40.『外国語ゲームの遊び方』リテレール・ボックス②『私の外国語上達法』，メタログ

5月16日

1356.刊行：『睡蓮の午後』福武文庫

6月20日

追—41.『私の好きな映画・ベスト5』リテレール・ボックス④『私の好きな映画・ベスト5』，メタログ

追—42.『私の好きなクラシック・レコード・ベスト3』リテレール・ボックス ③『私の好きなクラシック・レコード・ベスト3』，メタログ

7月10日

追—43.『私の好きな海外ミステリー・ベスト5』リテレール・ボックス⑤『私の好きな海外ミステリー・ベスト5』，メタログ

8月10日

追—44.『横光利一からの光』『新潮日本文学アルバム 43』，新潮社

追—45.『私の「本」整理術—図書整理術など不可能な、混沌、乱雑、無秩序、錯乱—』リテレール・ボックス⑧『私の「本」整理術』，メタログ

9月20日

追—46.『私の死生観—南にむけて永遠の空間を飛ぶこと—』リテレール・ボックス⑩『私の死生観』，メタログ

追—47.『私の文章術—心の想念を文章の形で明確にすること—』リテレール・ボックス⑨『私の文章術』，メタログ

10月17日

追—48.『岩波文庫〈ヨオロッパの世紀末〉解説』『ヨオロッパの世紀末』，岩波文庫

1995年（平成7）

追—49.『幸福—それは本当にこの世（モンド）が好きな事』映画「Monde（もんど）」パンフレット，ファザー・S C I（発行日不明）

3月16日

追—50.『解説〈クオ・ヴァディス〉』シェンキヴィッチ作『クオ・ヴァディス』（下），岩波文庫

4月25日

追—51.『〈プロヴァンス賛歌〉への賛歌』推薦文，アンドレ・シュアレス著高野優訳『プロヴァンス賛歌』帯，原書房

5月1日

追—52.『青春彷徨のかたみ』婦人画報

6月1日

追—53.『失われた小説の根拠を求めて』青春と読書，集英社

6月10日

追—54.『プーサンとセザンヌ』『世界美術大全集 第17巻 バロック2』月報，小学館

7月10日

追—55.『魂の調和のための50冊』『ジャンル別文庫本ベスト 1000』，学習研究社

8月

追—56.『美しいは楽しい』雪月花, 心ルネッサンスセンター

9月

追—57.『1936年の夏の一— <太陽に灼かれて>』マリー・クレール【収録誌】『幸福までの長い距離』
文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)

10月25日

追—58.『賑やかな文体の意味』開高道子『ジャムの壺から跳びだして』解説, 集英社文庫
1996年(平成8)

1月16日

追—59.『ヴェネツィア—“水”の虚実』エリオ・チロル写真集「ヴェネツィア」序文, 岩波書店

10月10日

追—60.『エル・グレコの現実』『世界美術大全集 第15巻 マニエリスム』月報, 小学館
1997年(平成9)追—61.『時代に浮ぶ大仏次郎の顔』『生誕100年記念大仏次郎展』冊子, 朝日新聞社

2月10日

追—62.『初期中世美術への旅』『世界美術大全集 第7巻 西欧初期中世の美術』月報 <巻頭対談>, 小学館

【補正】

19.『ネミロフスキー <舞踏会>』【収録誌】サマーセット・モーム編『世界100物語 ⑧ [人生の観察]』,
河出書房新社, 1997年5月20日(平成9)26.『スペインのかげり—アヴィラの街にて—』【収録誌5】『スペインのかげり』阿部出版, 1990年6
月10日(平成2)

28.『旅の終り』【収録誌9】『スペインのかげり』阿部出版, 1990年6月10日(平成2)

58.『空の王座』【収録誌7】『スペインのかげり』阿部出版, 1990年6月10日(平成2)

64.『夏の砦』【収録誌8】『グスターフ侯年代記』(マリー・ギェルデンクローネ編 支倉冬子訳として
印刷, 限定発行)やばつ工房, 1980年7月31日(昭和55)

67.『見知らぬ町にて』【収録誌9】『スペインのかげり』阿部出版, 1990年6月10日(平成2)

81. 刊行: ウィリアム・ザイツ『モネ』<世界の巨匠シリーズ>【収録誌】『モネ MONET BSS ギャラ
リー世界の巨匠』美術出版社, 1991年6月10日(平成3)

93.『風塵』【収録誌7】『スペインのかげり』阿部出版, 1990年6月10日(平成2)

107.『背教者ユリアヌス』【収録誌5】木本雅弘『天空静座—Hill Heaven—』(一部引用)同文書院イ
ンターナショナル, 1993年12月25日(平成5)134.『円形劇場から』【収録誌9】『L'Amphitheatre』限定版(C. et F. Varennes によるフランス語
訳), 吾八ぶれず, 1977年2月(昭和52)

138.『ランデルスにて』【収録誌7】『スペインのかげり』阿部出版, 1990年6月10日(平成2)

167.『ヨーロッパの汽車旅』【収録誌5】北杜夫編『楽しみと冒険7 乗らない・乗る・乗れば』新潮
社, 1979年12月20日(昭和54)170.『小説と時間意識』【収録誌4】『辻邦生歴史小説集成第十二巻歴史小説論・歴史小説創作ノート』
岩波書店, 1993年10月21日(平成5)275.『角倉了以』【収録誌】『江戸期の芸術家と豪商—日本史探訪』第12集, 角川文庫, 1984年12月25日
(昭和59)

278.『<夏の砦>まで』【収録誌】『跳躍と浸潤—埴谷雄高対話集』未来社, 1996年5月20日(平成8)

358. 『目撃者と不在者』【収録誌2】『武田泰淳全集 別巻2』筑摩書房, 1979年10月20日(昭和54)
367. 『東国の歌』【収録誌5】『文芸読本 万葉集』河出書房新社, 1979年10月(昭和54)
424. 『心の「優しさ」について』【収録誌2】小沢行雄編『旧制高等学校記念館—その生い立ちと歩み』旧制高等学校記念館友の会, 1996年4月25日(平成8)
468. 『〈英国の文学〉を読んだ頃』【収録誌2】『吉田健一集成 別巻』新潮社, 1994年6月10日(平成6)
477. 『風越峠にて』【収録誌6】『スペインのかげり』阿部出版, 1990年6月10日(平成2)
- 1975年(昭和50)
- 2月27日
64. 刊行:『夏の砦』新潮文庫
596. 『吉田健一のためのレクイエム』【収録誌】『吉田健一集成 別巻』新潮社, 1994年6月10日(平成6)
622. 『もう一つの夢としてのプラハ』【収録誌2】『日本の名随筆 別巻 51 異国』作品社, 1995年5月25日(平成7)
827. 『トーマス・マン』【収録誌】『トーマス・マン』同時代ライブラリー, 岩波書店, 1994年1月17日(平成6)
841. 『ヘルツォークの場合』【収録誌2】『ベスト・オブ・キネマ旬報 下 1967~1993』, キネマ旬報社, 1994年12月10日(平成6)
860. 『〈第五の旅 愛の棘〉十二の風景画への十二の旅』【収録誌4】『The Sting of Love Beyond Illusion』, 桂英語教室(桂宏子他6名による英訳), 1997年3月1日(平成9)
877. 『〈第七の旅 幻の果〉十二の風景画への十二の旅』【収録誌4】『The Sting of Love Beyond Illusion』, 桂英語教室(桂宏子他6名による英訳), 1997年3月1日(平成9)
900. 『墓地へゆく道』睡蓮の午後・1【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫, 1994年5月16日(平成6)
931. 『古きよきプロヴァンスから』【収録誌2】『青春の思い出』(改題「古きよきフランスへの限りない郷愁」)推薦文, 富岳書房, 1993年10月25日(平成5)
950. 『夢をめぐって』【収録誌2】日本近代文学館編『人生の僅かな時間—作家のエッセイ』小学館, 1998年1月10日(平成10)
953. 『海の底の春』睡蓮の午後・2【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫, 1994年5月16日(平成6)
979. 『〈笑い〉について』【収録誌2】伊藤淳彦編『抜粋のつづり』熊平製作所(改題「笑顔 笑いは生命感の噴出」)1986年1月29日(昭和61)
1059. 『美と内面への逃走』【収録誌】『世紀末そして忠臣蔵 <丸谷才一対談集>(改題『イギリスの世紀末』)立風書房, 1987年9月1日(昭和62)
1099. 『バビロンの庭園』睡蓮の午後・3【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫, 1994年5月16日(平成6)
1104. 『19世紀末と20世紀末—二つの世紀末文明の宿命』【収録誌】『遥かなる旅への追想』新潮社, 1992年4月20日(平成4)
1132. 『時の往還』睡蓮の午後・4【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫, 1994年5月16日(平成6)
1135. 『美しい夏の行方—中部イタリア 旅の断章から』【収録誌】『美しい夏の行方』中央公論, 1989年7月7日(平成1)
1153. 『アッティカの白い墓』睡蓮の午後・5【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫, 1994年5月16日(平成6)
1181. 『水の女』睡蓮の午後・6【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫, 1994年5月16日(平成6)
1203. 『探索者』睡蓮の午後・7【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫, 1994年5月16日(平成6)
1220. 『海に向かって, 夏—シチリアの旅から』【収録誌】『美しい夏の行方』中央公論社, 1989年7月7

日（平成1）

1230. 『R』睡蓮の午後・8【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫，1994年5月16日（平成6）
1234. 『トリュフォー，その軽やかな偉大さ』【収録誌2】『私の一本の映画』（改題「アメリカの夜—トリュフォーの疾走する情熱—」）キネマ旬報社，1982年11月30日（昭和57）
1260. 『乗り換え駅にて』睡蓮の午後・9【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫，1994年5月16日（平成6）
1269. 『甘美な夢を追った反時代人—篠田一士氏を悼む』【収録誌】立松和平著『水晶の死—1980年代追悼文集—』すずき出版，1991年2月19日（平成3）
1271. 『地と天の三面記事（フェ・ディヴェール）』睡蓮の午後・10【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫，1994年5月16日（平成6）

1989年（平成1）

7月7日

1135. 刊行：『美しい夏の行方』中央公論社
1303. 『夜の顔』睡蓮の午後・11【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫，1994年5月16日（平成6）
1324. 『手』睡蓮の午後・12【収録誌2】『睡蓮の午後』福武文庫，1994年5月16日（平成6）

1990年（平成2）

1月20日

991. 刊行：『雲の宴』上，朝日文庫，朝日新聞社

2月20日

991. 刊行：『雲の宴』下，朝日文庫，朝日新聞社
1356. 『睡蓮の午後』【収録誌】『睡蓮の午後』福武文庫，1994年5月16日（平成6）
1400. 『ナポレオン神話と実像』【収録誌】別冊歴史読本，新人物往来社，1993年12月10日（平成5）
1433. 『西行花伝』【収録誌2】『西行花伝』限定版，新潮社，1995年6月7日（平成7）【放送2】『西行花伝』（月の巻）NHK FM 放送，1997年3月（平成9）
1541. 『役者あそび 人生あそび』【収録誌2】『明治のベースボール』'92年版ベストエッセー集，文春文庫，1995年8月10日（平成7）
1799. 『〈信じる〉ことの周辺』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋，1997年9月10日（平成9）
1804. 『映画の中に見えるもの』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋，1997年9月10日（平成9）
- 1993年（平成5）

2月10日

1649. 『一館ロングランで活性化—季節の鏡 街の鏡⑤』新潟日報
1813. 『情念の行方』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋，1997年9月10日（平成9）
1820. 『希望を再生させるもの』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋，1997年9月10日（平成9）
- 4月3日

1649. 『映画の快楽 演劇の快楽—季節の鏡 街の鏡⑥』山形新聞他8地方紙
1829. 『時代とヒーローの条件』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋，1997年9月10日（平成9）
1834. 『知りすぎた男』（原題「ニキータの語るもの」）【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋，1997年9月10日（平成9）

1841. 『異次元の散歩から』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋，1997年9月10日（平成9）

6月5日

1649. 『前衛と伝統が活気づく時代—ビナ・パウシュの現代舞踏など—季節の鏡 街の鏡⑦』日本海新聞他8地方紙
1851. 『結婚する愛，しない愛』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋，1997年9月10日（平成9）

- 1853.『悲しみをこめて振り返れ—クルーズ、カイヤット、クレミヨンをめぐる—』マリー・クレール【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 1855.『戦争の悲劇を語る意味』(原題「あるアメリカ映画の勇気」)【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 8月
- 1863.『秋のソナタ』俳句あるふあ, 毎日新聞社
- 1864.『永遠の影が映るとき』【収録誌1】友 Iwanami Hall (前部省略) 岩波ホール, 1994年3月10日(平成6)【収録誌2】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 1865.『世界の断片化を乗り越える』(原題: 無題 ダニエル・シュット監督「季節のはざま」)【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 1870.『アメリカの自画像』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 1871.『映画とは〈詩〉と〈面白さ〉についての物語』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 1880.『時を超えた視線』【収録誌】久世光彦『蝶とヒットラー』ハルキ文庫, 角川春樹事務所, 1997年12月18日(平成9)
- 1888.『森の中の生活から』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 1994年(平成6)
- 1月17日
827. 刊行:『トーマス・マン』同時代ライブラリー, 岩波書店
- 1931.『愛欲劇に「世界構造」映す—「映画〈ピアノ・レッスン〉の重い象徴性—』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 5月16日
1356. 刊行:『睡蓮の午後』福武文庫
- 1960.『乱歩ブーム』(原題「RAMPO ブーム」)【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 1976.『無題: 田中真知著〈アフリカ旅物語〉』推薦文, 『アフリカ旅物語』帯, 凱風社
- 1988.『香わしい時間の至福』(原題「香わしい時間の至福〈青いパイアの香り〉の裏と表」)【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 2018.『父なるものへの永遠なる郷愁』(原題: 無題 ダニエル・ベルイマン監督「日曜日のピュフ」)【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 2033.『過ぎゆく時の陶醉—〈アブラハム溪谷〉のエマの意味—』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 2064.『自然と人が調和を奏でる七楽章』(原題「地球交響曲 第2番」)【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 1995年(平成7)
- 6月7日
1433. 刊行:『西行花伝』限定版, 新潮社
- 2115.『〈時代の貌〉としてのモンタン』(原題「ジャンラビブ監督〈モンタン, パリに抱かれた男〉」)【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 2126.『男と女の神秘的赦し』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 2141.『悦楽と苦悩と創造と』【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
- 2164.『なぜ恋愛小説が困難に?』【収録誌】辻邦生/水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)

2165. 『ヴェトナムの今』(原題「映画〈シクロ〉とベトナム」)【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
2168. 『幼少の頃の読書の祝祭』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2171. 『読書の“小魔窟”のなかで』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2175. 『物語が持つ魔術の一体性』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2178. 『狂暴なまでに猥雑なストーリー』(原題: 無題 エミール・クストリッツァ監督「アンダーグラウンド」)【収録誌】『幸福までの長い距離』文藝春秋, 1997年9月10日(平成9)
2179. 『男女の顔が欠落した風土』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2183. 『欠けていた「幸福の観念」』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2186. 『「見えない世界」の存在感』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2189. 『書くことの根源的な意味』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2192. 『一葉が喚起する裏町の姿』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2196. 『ディケンズ、情景の描出法』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
- 1996年(平成8)
- 11月10日
64. 刊行: 『夏の砦』(付録: 『夏の砦』創作ノート抄録), 文春文庫, 文藝春秋
2204. 『手紙だけの友情と想像力』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2208. 『物語のある小説、ない小説』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2213. 『日本語のマユを破って……』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2217. 『信州の寒夜とロシア文学』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2220. 『ドストエフスキーの苦難』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2225. 『言葉で音楽を書いたマン』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2228. 『失われた「深い豊かな生」』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて朝日』新聞社, 1998年3月1日(平成10)
2231. 『チェーホフの善なる男女』【収録誌】辻邦生／水村美苗『手紙, 葉を添えて』朝日新聞社, 1998年3月1日(平成10)

【訂正】

18. 『フランス文学のなかの……』……河出書房新社、月報 → 月報、河出書房
19. 『ネミロフスキー〈舞踏会〉』……河出書房新社 → 河出書房
27. 『回廊にて』 → 『廻廊にて』
65. 『献身』【収録誌2】吾八プレス → 吾八ぶれす
(以下すべて同じ)
75. 『安土往還記』【収録誌7】『昭和文学全集〈辻邦生……
黒井千次』第20巻、小学館、1987年4月1日 → 黒井千次』第24巻、
小学館、1988年8月1日
107. 『背教者ユリアヌス』……(昭和47年度…… → (→1972. 8まで。昭和47年度
118. 『トーマス・マンを語る』【収録誌2】『若き日と文学
と』中公文庫、1970年7月20日 → 1974年6月10日
143. 『長崎天草を訪ねて』『新編日本の旅第14巻』月報 → 「月報」を削除
184. 『雲の果ての旅』【収録誌2】…新潮社、1976年11月
1日 → 1976年11月5日
288. 『事実を見る目』 → 『事実を見る眼』
328. 『異国の街で』【収録誌】『午後の楽しみ』 → 『午後の愉しみ』
482. 『日本型カルチャーの透視図』 → 『日本のカルチャー……』
- 11月
697. 『くかなしみの通過』……〈インディアン・サマー〉 → 11月15日
新潮社 } 〈インディアン・サマー〉
帯、新潮社
825. 『大虚のなかに在ること』 → 『太虚のなかに在ること』
844. 刊行：『冬の霧立ちて…』月記 → 日記
900. 【収録誌】『水蓮の午後』
→ 『睡蓮の午後』(以下 953, 1099, 1132, 1153, 1181, 1203, 1230, 1260, 1271, 1303, 1324も
同様に訂正する。)
999. 『〈夜の扉〉を開きつつ』……序文、沖積社 → 序文、沖積舎
1031. 『作品制作に関する「日記」抜粋』は削除、追一10として【補正】に追記。従って1031は欠番と
なる。
- 1987年5月
1104. 『19世紀末と20世紀末一二つの世紀末の宿命』 → 5月14日
第28回朝日ゼミナール } 1104. 『19世紀末…
第82回朝日ゼミナール
1134. は 1059. と同じ内容である。従って 1134. を削除し、欠番とする。
- 1989年4月
1270. 『美しい町ふたたび』 → 4月28日
1270. 『美しい町ふたたび』
1433. 『西行花伝(一序の巻)』新潮(→1992. 12. 21回掲載) → (→1993. 6. 24回掲載)
1497. 『永遠の獵人』 → 『永遠の狩人』
1656. 『世紀末の宿命』……(平成4年) → 削除(1656は欠番)
- 1992年10月5日
1649. 『ニューヨークの……(原題「ニューヨークの
マチス大懐古展」) → マチス大回顧展
- 1993年5月10日
1832. 『ロマン主義の再生』……『世界美術大全集 第3巻』 → 6月10日
第20巻
1900. 『ナポレオン神話と実像』は1400. 『ナポレオン神話と実像』の【収録誌】となる。従って1900は

欠番となる。

1994年 3月10日

1927. 『静止する時間に沈む形象』

}

→

{ 4月10日

1927. 『静止する時間に沈む形象』

1968. 『ある恋の行方……』 國文学

→

國文學解釈と教材の研究

1994年 10月10日

2001. 『ゴシックの夢のほとりで』

}

→

{ 10月20日

2001. 『ゴシックの夢のほとりで』

2062. 『永遠を見る視線』

→

『ワイエス—永遠を見る視線』

2141. 『悦楽と苦悩と想像と』

→

『悦楽と苦悩と創造と』

2173. 『イル・ポストイー』

→

『イル・ポストイーノ』

(1998. 3. 30 受理)